

「かれがわ田んぼの生き物観察会」開催



専門家による説明



生き物採集

第八回を迎えた「田んぼの生き物観察会」が去る7月23日に開催された。

この観察会には親子併せて100名を超える参加があり、桑名市の天然記念物として指定されている「ヒメタイコウチ」や絶滅危惧種として指定された「ホトケドジョウ」など田んぼや水路の生き物採集を行った。その後、専門家による解りやすく丁寧な説明があり自然環境の大切さを学んだ。また体長1.5メートルを超えるアオダイショウも採取され、多くの子供達が大騒ぎしながら実際へびに触れ楽しい観察会となった。

嘉例川地区は、環境に関心が高く受益者の理解により生態系保全型水田整備推進事業の調査が行われ、排水路の現況利用、ビオトープの設置、保全区域の工事除外等環境に配慮したほ場整備事業が施行された地域で、毎年環境、生態系に関する多くの行事が企画され、多くの市民や子供達に自然にふれあう場を提供している。

今年も7月3日に桑名市の「桑名市子ども文化祭」に参加し、さらに8月11日には「かれがわ田んぼの探検隊」が開催された。このような企画により「水土里ネット嘉例川」、農地・水の活動組織である「かれがわふる里活動隊」、「ヒメタイコウチ・ホトケドジョウ保存会」など嘉例川地域の各組織が一体となり、自然と環境の大切さを多くの市民に向けPR活動を行っている。



アオダイショウに触れる子ども